

2026 年度

鹿児島大学大学院保健学研究科
保健学専攻博士（前期）課程
(第3次募集)

学生募集要項

[一般選抜]

[社会人特別選抜]

[外国人留学生特別選抜]

鹿児島大学大学院保健学研究科

「UCL 稲盛留学生制度」について

～英国の名門校ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）に
1年間留学し、学ぶことができる制度です～

鹿児島大学は、幕末時代の薩摩藩の精神を継承し、「進取の精神・気風」を備えた人材を輩出する理念の基に、鹿児島大学 21世紀版薩摩藩英国留学生派遣事業「UCL 稲盛留学生」制度を設立しています。

この「UCL 稲盛留学生」制度は、鹿児島大学に在籍しながら単位取得のために UCL の授業を受講し、通常の UCL の正規学生と同じ扱いを受ける学生として各分野における卓越した学問を修得することを目的として 1 年間 UCL へ留学します。

本学が、この「UCL 稲盛留学生」に求めるものは、「大きな将来性」であり、本学ならびに我が国を代表する教育者や研究者になること、稻盛和夫鹿児島大学名誉博士のような我が国をリードする世界的企業人として活躍できる人物を目指すところにあります。

【事業概要】

年間 1 ~ 2 名を UCL への留学候補者として選抜し、UCL からの入学許可を得た者（「UCL 稲盛留学生」）に鹿児島大学稻盛和夫基金を財源として経済的に支援します。

1. 対象者 本学大学院の修士課程、博士課程に在学する者又は入学を予定する者。
2. 支援予定人数 1 ~ 2 名
3. 応募要件
 - (1) 学部在籍時の GPA が 3.3/4 以上の者。
 - (抜粋) (2) UCL への申請時までに次の水準以上の英語能力を有する者
 - IELTS (Academic Module) 6.5 以上又は
 - TOEFL iBT(Internet-Based-Test) Total Score 92 点 (R24,L20,S20,W24)
以上に相当する英語能力を有していること
- ※ただし、UCL の希望するプログラムが、入学許可に必要な英語能力水準を明示している場合は、当該水準以上の英語能力を有している者
4. 支援内容 ロンドンまでの渡航費（往復）、ロンドンでの 1 年間の滞在費、UCL の授業料、その他留学のために必要と認められる経費
5. 募集時期 派遣前年の 9 月～ 11 月頃を予定
6. UCL への応募時期 派遣年の 3 月
7. 派遣時期 每年 9 月頃
8. 単位互換 UCL で履修した授業科目について修得した単位は、各研究科の修了単位数に互換できる場合があります。単位互換については、所属する研究科へお問い合わせください。
9. 制度に関する問合せ先 鹿児島大学学生部国際事業課留学生係

TEL 099-285-3124 (平日：9:00-16:30)
E-mail ryugaku@kuas.kagoshima-u.ac.jp

保健学研究科保健学専攻博士前期課程

〔教育目的〕

保健学に関する優れた専門知識・技術をもつ高度専門職業人並びに卓越した教育や研究のできる人材及び離島や国際的な保健医療活動の推進・充実に貢献できる人材を育成し、併せて教育研究の成果及び情報を広く提供し、社会に貢献することを目的とする。

1 教育目標

- (1) 優れた専門知識・技術をもつ高度専門職業人の育成
- (2) 学生の能力開発に効果的な教育や独自の研究ができる人材の育成
- (3) 離島・へき地や地域の保健医療活動の充実、向上に貢献できる人材の育成
- (4) 国際保健医療活動を推進できる人材の育成

2 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

(1) 求める人材像

- ・ 豊かな人間性と高い倫理観を獲得し、保健学を発展させることに意欲のある人
- ・ 保健学における高度専門職業人としての優れた知識や技術・態度の獲得を目指す人
- ・ 保健学における卓越した研究や教育を目指す人
- ・ 離島・へき地や地域の保健医療の質の向上への貢献を目指す人
- ・ 国際保健医療活動の推進を目指す人

(2) 入学前に身につけておいて欲しいこと

- ・ 保健学とその周辺分野に関する幅広い問題意識
- ・ 保健学に関する基礎的知識と技術

(3) 入学者選抜の基本方針

保健学に関する現象を、深い関心と見識をもって科学的に探求し、それらの成果を人々の健康増進や回復、QOL の向上に役立てられるように公表し、実践に活用していく基礎的能力を有するかどうかを専門科目、外国語科目（英語）、小論文、面接等によって評価します。

〔出願に係る個人情報保護について〕

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱いますのでご了承願います。

1 利用目的

出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、次に掲げる目的に利用いたします。

- (1) 入学者選抜、合格発表、入学手続きなど、入学までの一連の業務を行うため。
- (2) 入学後の学籍関係（学生証交付、各種学籍処理、証明書発行等）、修学関係（履修登録、学業成績等）及びそれらの連絡通知を行うため。
- (3) その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため。

2 第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることにいたします。

- (1) 本学入学者について、名簿作成及び連絡通知等に使用するために本学の関連組織である学友会・同窓会等からの名前、所属に限り照合に応じる場合。
- (2) 法令に基づき公的機関等の要求に応じる場合や出願者本人及び第三者の生命・身体・財産の権利利益を保護するために必要な場合は、本人の同意を取ることなく、個人情報を提供する場合があります。
- (3) 法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合。

入学試験に関する日程

出願資格審査受付期間	2026年2月2日(月)～2026年2月10日(火)
願書受付期間	2026年2月24日(火)～2026年3月2日(月)
入学試験日	2026年3月9日(月)
合格発表日	2026年3月25日(水)
入学手続期間	2026年3月25日(水)～2026年3月30日(月)

目 次

学生募集要項

1	募集人員	1
2	出願資格	1
3	出願方法	2
	(1) 一般選抜	
	(2) 社会人特別選抜	
	(3) 外国人留学生特別選抜	
4	出願書類等	2
5	出願資格審査	5
6	出願手続	6
7	選抜方法等	7
8	出願及び受験にあたっての注意事項	8
9	合格者発表	9
10	入学手続	9
11	博士前期課程の修了要件及び学位の授与	9
12	大学院設置基準第14条による教育特例	10
13	長期履修学生制度	10
14	障害を有する入学志願者の事前相談	10
15	入試情報の開示	11

看護学領域及び保健学領域の概要	12
-----------------	----

1	目的
2	各領域の概要
3	教員の研究課題等

試験場及び交通案内図

出願書類様式

1 募集人員

専攻	入学定員	領域	募集人員
保健学	若干人	看護学	公衆衛生看護学分野 4人

※今回は、看護学領域公衆衛生看護学分野のみ募集します。

※募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の若干人を含みます。

※出願に関しては、あらかじめ志望する領域の希望する指導教員に事前相談したうえで出願してください。(P14～教員の研究課題等を参照)

2 出願資格

- (1) 大学を卒業した者又は 2026 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
 - (2) 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者又は 2026 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者
 - (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (6) 外国の大学等において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
 - (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は 2026 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
 - (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年 2 月 7 日文部省告示第 5 号）
 - (9) 2026 年 3 月 31 日現在で大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者
 - (10) 個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、22 歳に達したもの又は 2026 年 3 月 31 日までに 22 歳に達するもの
 - (11) 外国人留学生特別選抜においては、日本留学試験又は日本語能力試験を受験し、指定するスコアを取得している者
- (注) 出願資格が上記 (9)、(10) により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を行いますので、あらかじめ学務課保健学教務係まで照会してください。(5 ページ参照)

3 出願方法

入学者の選抜は、前ページ「2 出願資格」のいずれかに該当する者について、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜により行いますので、下記の受験区分を確認のうえ出願してください。

(1) 一般選抜

以下の(2)、(3)以外の者

(2) 社会人特別選抜

入学時において医療・保健・福祉施設、教育研究機関、官公庁、企業等において専門的な3年以上の実務経験を有する者

(3) 外国人留学生特別選抜

外国の国籍を有し、日本における在留資格が本学の入学に支障がない者

4 出願書類等

(1) 出願書類入手方法

出願書類の一部は本学大学院保健学研究科ホームページ（以下、保健学研究科HP）よりダウンロードし、印刷する必要があります。

(2) 出願書類

一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜に係る出願書類は、下記の「出願書類①」のとおりとします。

社会人特別選抜は、「出願書類①」に併せ「出願書類②」を提出し、外国人留学生特別選抜は、「出願書類①」に併せ「出願書類③」を提出してください。

なお、出願資格審査を受けた者は、出願資格審査時に本学に提出済みの書類を再度提出する必要はありません。

出願書類①（※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること）

出願書類等		摘要
①	入学志願票 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
②	受験票・写真票 ※	写真（縦4cm×横3cm、正面、上半身、無帽、無背景で出願前3か月以内に撮影したもの）を各1枚貼付
③	成績証明書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの ※ 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者は、学位申請時に提出した短期大学、専攻科及び他大学で修得した単位修得証明書を併せて提出すること。また、大学に編入学した者にあっては、編入学前の短大・専門学校等の成績証明書を併せて提出すること。
④	卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長が作成したもの
⑤	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	「2 出願資格(2)」に該当する者のみ要提出。大学改革支援・学位授与機構が証明したもの。

⑥	入 学 檢 定 料 ※	<p>30,000 円（国費外国人留学生は除く）（外国政府派遣留学生等は、留学生から申請があった場合、入学検定料を免除する場合もある。）次頁の「鹿児島大学 檢定料払込方法」を参照の上、検定料 30,000 円（事務手数料は支払人負担）を支払い後、「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、「検定料納付確認票※」に貼付して提出すること。</p> <p>また、既納の検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>①検定料を払込んだものの、出願しなかった場合（出願書類を提出しないまま受付期間が終了したり、書類不備等により出願書類が受理されなかった場合）</p> <p>②誤って検定料を二重に払込んだ場合</p>
⑦	返信用封筒（受験票送付用）	封筒（長形 3 号）に、志願者の住所、氏名、郵便番号を明記のうえ、切手（410 円分）を貼付すること。
⑧	宛名票（合格通知用）※	本要項所定の用紙に、住所、氏名、郵便番号を明記すること。
⑨	研 究 志 望 書 ※	本要項所定の用紙に、志望する研究テーマ、目的、動機、内容についてまとめること。
⑩	出願資格審査結果の通知書	「5 出願資格審査」で申請した者は、審査結果通知書の写しを添付すること。
⑪	看護師免許証（写）又は登録済証明書（写）	公衆衛生看護学分野希望者のうち、出願時に看護師免許を有する者は看護師免許証（写）を提出すること。 看護師免許取得見込の者は国家試験終了後、速やかに厚生労働省発行の登録済証明書（写）を提出すること。

出願書類② (社会人特別選抜志願者のみ提出) (※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること)

⑫	就 学 承 諾 書 ※	本要項所定の用紙により、所属長が発行したもの (社会人特別選抜で、現職のまま学業を行う者のみ)
⑬	在職期間証明書	在職時の職名、勤務時間を所属機関の長が証明する書類で 3 年以上の実務経験を証明したもの（様式任意） (2026 年 3 月末までに見込まれる者を含む。)
⑭	業績調書（社会経験を含む）※	本要項所定の用紙に記入すること。

出願書類③ (外国人留学生特別選抜志願者のみ提出)

⑮	日本留学試験に関する証明書又は日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書（原本） (2023 年以降に受験した 1 回の成績に限る)	出願に必要なスコア	
		日本留学試験	日本語 220 点以上（記述を除く）かつ日本語記述 30 点以上
		日本語能力試験	N 1 又は N 2
⑯	住民票の写し又はパスポートの写し	日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を、その他の者は、パスポートの写しを提出すること。	

鹿児島大学 検定料払込方法

検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」、クレジットカードで24時間いつでも払い込みが可能です。

事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

1 Webで事前申込み

画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。

<https://e-shiharai.net/>



※カード決済完了後の修正・取消はできません。申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

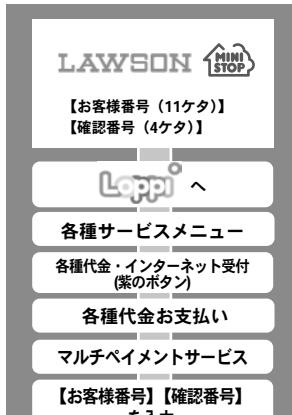
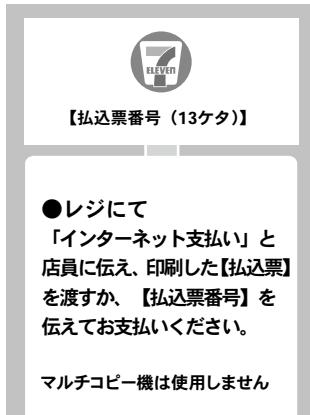
※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。

支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。

2 お支払い

コンビニエンスストアでお支払い



クレジットカードでお支払い



3 出願

【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼る。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「『熟感感压紙などを変色させる場合があります』と記載されている糊はご使用にならないでください。『収納証明書』が黒く変色する恐れがあります。

【クレジットカードでお支払いの場合】

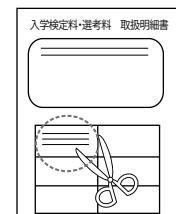
支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して「収納証明書」を印刷。

「収納証明書」部分を切り取り、入学志願票の所定欄に貼り出願。

＜注意＞

プリンタのある環境が必要です。
スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。

※クレジットカードでお支払いされた場合、「取扱金融機関納印」は不要です。



！ 注意事項

- 携帯サイトの未成年者アクセス制限サービスは解除してご利用ください。
- 出願期間を入試要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は14:00まで、店頭端末機の操作は15:00までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時に支払いが完了します。14:00までにお手続きしてください。
- 「検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

- 一度お支払いされた検定料は返金できません。
- 検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- 「申込内容照会」から収納証明書が印刷できるのは、クレジットカードでお支払いされた場合に限ります。
- カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。
- 取扱いコンビニ、支払方法は変更になる場合があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

5 出願資格審査

本要項「2 出願資格」の(9)、(10)により出願を希望する者は、下記により出願資格の認定を受けてください。

なお、書類提出にあたっては、あらかじめ志望する領域の希望する指導教員に事前相談したうえで提出してください。事前相談は、入学後の研究内容や修学等の確認に限ります。入学試験に係る学力検査、面接等に対する指導や講評は行いません。また、事前相談の内容が、入試の選抜に影響することは一切ありません。

(1) 提出書類 (※印は保健学研究科HPよりダウンロードし、印刷すること)

A 出願資格(9)により出願しようとする者

① 入学試験出願資格認定申請書 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
② 成績証明書	在籍する大学(学部)長が作成し巻封したもの
③ 在学(期間)証明書	在籍する大学(学部)の長が作成したもの
④ 推薦書	在籍する大学の(学部)長が作成し巻封したもの(様式任意)
⑤ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(110円分)を貼付したもの

B 出願資格(10)により出願しようとする者

① 入学試験出願資格認定申請書 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
② 最終学校成績証明書	出身学校長等が作成し巻封したもの
③ 最終学校卒業証明書	出身学校長等が作成したもの
④ 在職期間証明書	技術的・専門的職業についての職歴を有する者で、その期間及び職務内容を明記し、所属機関の長が作成したもので3年以上の実務経験を証明したもの(様式任意) (2026年3月末までに見込まれる者を含む。)
⑤ 自己推薦書 ※	本要項所定の用紙に記入すること。
⑥ 業績調書(社会経験を含む) ※	本要項所定の用紙に記入すること。
⑦ 出身学校の規定等	卒業要件(在学期間、授業科目、単位数)の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目の授業内容が記載されたもの(シラバス等)
⑧ 審査結果通知用返信封筒	長形3号の封筒に本人の住所、氏名、郵便番号を明記し切手(110円分)を貼付したもの

(2) 出願資格審査書類提出期間及び審査結果の通知

事項	内容
出願資格審査書類の提出期間	2026年2月2日(月)～2026年2月10日(火)17時まで
審査書類提出方法	封筒の表に「大学院出願資格審査書類在中」と朱書し、最終日の17時までに到着するよう持参又は書留・速達郵便により提出すること。
審査書類提出先	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL 099-275-6724 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係
審査結果の通知	2026年2月19日(木)発送予定 上記日付で申請者宛に郵便で通知するので、出願資格を認定された者は、出願手続を行うこと。なお、成績証明書、卒業証明書、在職期間証明書及び業績調書(社会経験を含む)は、再提出する必要はない。

6 出願手続

(1) 出願期間等

事 項	内 容
願書受付期間	2026年2月24日(火)～2026年3月2日(月) 17時までに必着
出願書類提出先	〒890-8544 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1 TEL 099-275-6724 鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係

(2) 出願書類提出方法

出願者は、出願に必要な書類等を取りそろえ、レターパックライト（430円）で出願（宛名記載方法は下記参照のこと）してください。持参する場合は、レターパックライトではなく、角2封筒に入れて出願してください。

出願を受理したときは、「受験票」及び「受験者心得」を送付します。

【レターパック宛名記載方法】



(注) 「ご依頼主様保管用シール」は、
発送時に必ずはがして、出願者が
保管すること。

7 選抜方法等

(1) 選抜方法

① 一般選抜

外国語科目（英語）、小論文及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

② 社会人特別選抜

外国語科目（英語）、小論文及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

③ 外国人留学生特別選抜

外国語科目（英語）、小論文及び面接の結果を総合評価し、合格者を決定します。

(2) 学力試験日程等

試験科目等	各選抜の試験科目			試験日
	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜	
外国語科目（英語）	○	○	○ ^{注1}	2026年3月9日（月） 9:30～10:30
小論文	○	○	○	11:00～12:00
面接	○	○	○	13:00～

注1) 英語を母語とする志願者には日本語を課す。

※英語の試験では、英和・和英辞典及び医学専門英語辞典の持ち込み可。ただし、電子辞書は不可。

(3) 評価内容

試験科目等	配点	評価内容
外国語科目（英語）	100	保健学に関する英語の文献を読解できる能力を問う。
小論文	100	保健学に関する課題について、知識、考え方等を問う。
面接	100	研究者又は専門性を有する職業人としての適性及び意欲を審査する。

(4) 合否判定

合否判定は、入学者選抜方法及び領域に関係なく、全受験者を総合得点順に並べ、本研究科が定める合否判定基準を満たした得点上位者から順次行います。

なお、総得点が同点の場合は、外国語科目（英語）、小論文、面接の得点の順により順位付けを行います。

(5) 試験会場

鹿児島大学桜ヶ丘共通教育棟

鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1

（末尾参照）

8 出願及び受験にあたっての注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合、受理しないことがあります。
- (2) **出願に際しては、あらかじめ志望する領域の希望する指導教員に事前相談したうえで出願してください。**

事前相談は、入学後の研究内容や修学等の確認に限ります。入学試験に係る学力検査、面接等に対する指導や講評は行いません。また、事前相談の内容が、入試の選抜に影響することはありません。

(14 ページ以降の教員の研究課題等を参照)。

- (3) 出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、連絡先に変更があった場合は、学務課保健学教務係まで届け出てください。また、一旦受理した出願書類等は返還しません。
- (4) 提出書類の記載事項が事実に相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消す場合があります。
- (5) 入学を志願する者のうち、障害を有する者で受験上及び就学上特別の配慮を必要とする場合は、10 ページの「14 障害を有する入学志願者の事前相談」を参照し、出願期間前に学務課保健学教務係へ申し出てください。
- (6) 改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。
- (7) 試験室及び注意事項等は、試験日前日の 13 時までに桜ヶ丘共通教育棟玄関（末尾参照）に掲示します。ただし、棟内の立入は禁止します。
- (8) 受験者は、試験開始 20 分前までに集合してください。なお、各試験開始後 30 分以上遅刻した場合は受験できません。
- (9) 試験当日は、必ず受験票を持参し係員に提示してください。受験票を紛失・忘れた者は、試験場本部に申し出てください。

試験場内での携帯電話等の使用は禁止します。これらを試験場内に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切ってかばん等に入れてください。

机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）、辞書（英語の試験のみ。英和・和英辞典及び医学専門英語辞典は可、電子辞書は不可）です。その他のものは、指定の場所に置いてください。

- (10) 受験票は、受付期間終了後に出願者に送付します。試験日の 3 日前までに到着しない場合は、出願書類提出先に照会してください。

9 合格者発表

合格発表日
2026年3月25日（水）10時
桜ヶ丘共通教育棟玄関に合格者の受験番号を掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。また、鹿児島大学大学院保健学研究科のホームページにも合格者の受験番号を掲載します。 (アドレス https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/) なお、電話・メール等による合否の問い合わせには一切お応えいたしません。

10 入学手続

入学手続き書類は合格通知と一緒に送付するので、下記の期日の間に必着するように郵送するか、鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係で入学手続を行ってください。

(1) 入学手続期間

2026年3月25日（水）～2026年3月30日（月）

（受付時間：9時から17時まで、時間を厳守願います。）

入学手続期間内に入学の手続を行わなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱いますので留意願います。

(2) 納付金（2026年度予定）

① 入学料 282,000円

② 授業料 267,900円（年額 535,800円）

※料金改定が行われた場合、改定時から新料金が適用されます。

（注）ア 入学手続完了者が入学を辞退した場合、既納の入学料は返還できません。

イ 国費外国人留学生は入学料、授業料ともに不要です。外国政府派遣留学生等は、留学生から申請があった場合、入学料を免除します。

ウ 入学料、授業料については、徴収猶予及び免除の制度があります。

詳細は、鹿児島大学学生部学生生活課経済支援係（電話 099-285-7329）まで問い合わせてください。

なお、入学手続後に入学を辞退する場合、入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり、入学料を納入していただくことになります。

(3) 保険

実験実習・課外活動中には、万全の注意を払っていても不幸にして不慮の事故により負傷・後遺障害といった災害を被ることがあります。このような正課中、学校行事中及び課外活動中に被った災害・傷害（課外活動中のケガ、実験中の火傷等）に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険」があります。この保険は通学中等担保特約付きとなっていて、通学中の事故についても補償されます。

また、助产学分野では、助产学実習等を課していることから、臨床実習中の感染事故、針刺し事故、第三者賠償責任にも対応する日本コープ共済生活協同組合連合会または公益財団法人日本国際教育支援協会等の賠償責任事故を補償する保険に学生本人負担により加入しています。（他の医療関連実習等の賠償責任事故を補償する保険への加入でも結構です。）

11 博士前期課程の修了要件及び学位の授与

(1) 修了要件・履修方法

本課程に2年以上在学し、所定の単位を30単位以上（看護学分野精神看護専門コースにあっては48単位、公衆衛生看護学分野及び助产学分野にあっては61単位以上）を修得し、必要な研究指導を受けた上、本課程の目的に応じ、修士論文又は特定の課題についての研究成果の

審査及び最終試験に合格することとしています。ただし、優れた業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとします。

(2) 取得できる学位

課程・修業年限	専攻	領域	取得できる学位
博士（前期）課程 2年	保健学	看護学	修士（看護学）
		保健学	修士（保健学）

12 大学院設置基準第14条による教育特例

社会人入学者の学修を容易にするために、大学院設置基準第14条による教育方法の特例に基づく昼夜開講制による教育を実施しています。

昼夜開講制の授業時間帯は、昼間（9:00～17:50, 5時間まで）、夜間（18:00～21:10, 6・7時間）です。また、必要に応じて土曜日、日曜日及び祝日等に集中講義や研究指導を行うことがあります。なお、一般選抜入学者についても夜間等の授業時間帯の履修が必要な学生には、履修を認めています。

ただし、公衆衛生看護学分野及び助産学分野での分野科目（31単位）は、昼の開講となります。

13 長期履修学生制度

保健学研究科には、長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な大学院生が、標準年限を超えて一定の期間（3年または4年）にわたり、計画的に履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された在学年限で除した金額となります。

合格通知の際に必要書類を送付しますので、予定指導教員と相談のうえ期日までに学務課保健学教務係へ提出してください。

14 障害を有する入学志願者の事前相談

本研究科に入学を志願する者で、障害（次表参照）がある場合は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、あらかじめ次頁の照会先へ相談してください。

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満又は視力以外の視機能障害が高度なものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの

肢 体 不 自 由 者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱 者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

(注) 学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

(1) 時期

相談の内容によっては、本研究科の入学者選抜試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともありますので、なるべく出願期間の数日前までに相談してください。

(2) 方法

電話での相談又は本研究科での相談いずれでもかまいませんが、下記事項を記載した書類(様式任意)を提出していただく場合があります。

- ① 志願する研究科の領域及び分野名、氏名、生年月日
- ② 障害の種類、程度(医師の診断書が必要な場合があります。)
- ③ 受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④ 大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ⑤ 日常生活の状況
- ⑥ 本人の現住所及び連絡先電話番号

(3) 照会先

〒890-8544

鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係

TEL 099-275-6724

E-mail isgghk@kuas.kagoshima-u.ac.jp

15 入試情報の開示

入試成績に関する個人情報は次により学務課で開示します。(受験票を持参してください。)

- (1) 受験者本人からの請求に基づき、試験科目の得点、面接の評価、合否の別を書面により開示します。
- (2) 入試成績の開示は、当該年度の入試に限り開示し開示期間は合格発表後2か月間とします。
- (3) 遠隔地等の理由により、来学が困難な場合は学務課に問い合わせてください。

鹿児島大学大学院保健学研究科保健学専攻博士前期課程

看護学領域及び保健学領域の概要

1. 目的

1. 看護学領域

- (1) 看護職者として高度の専門知識と問題解決能力を有する実践指導者の育成
- (2) 看護学の科学的進歩と多様化に柔軟に対応できる創造的教育・研究者の育成
- (3) 保健・医療・福祉分野の施設において、幅広い包括的立場に立脚した管理運営のできる実践指導者の育成
- (4) 保健医療福祉の国際的分野で活躍貢献できる専門看護職者の育成
- (5) 離島の保健・医療・福祉に積極的に貢献できる実践指導者の育成

2. 保健学領域

- (1) 理学療法・作業療法学における教育・研究者としての人材の育成並びに教育・研究における指導力を有する人材の育成
- (2) 高度な専門的知識と技術を有し、実践能力をもつ専門職の育成並びに社会人の再教育
- (3) 離島を含む地域の保健医療に貢献できる技術開発のできる人材の育成
- (4) 高齢者介護システムの質的向上を図る人材の育成
- (5) 国際保健医療の分野で活躍できる人材の育成

2. 各領域の概要

1. 看護学領域

看護学領域は、実践的な高度専門看護職者と将来、看護専門分野の教育者・研究者となる人材の育成を行う。これから看護学においては、専門的立場から保健・医療・福祉に関する多様化したニーズを捉え、保健医療福祉システムの変革や複雑かつグローバル化する健康問題に柔軟に対応する能力が要求される。看護学分野、看護学分野（精神看護専門コース）、助产学分野及び公衆衛生看護学分野を開講し、社会のニーズに対応した人材の育成を目指す。

(1) 看護学分野

看護学分野では、適切な看護を提供するための看護科学の基礎となる理論と技術について研究・教育し、さらに看護病態学的課題についても教育・研究を行う。また、ヘルスケアの需要者、供給者にとって望ましいシステムを構築するために、臨床／技術的レベル、制度／政策的レベルでの問題解決能力を身につけることを目標とする。さらに様々な場で生活する人々の健康に関連する課題を、その場の特性や対象の心身の成長・発達特性を踏まえて総合的かつ実践的に把握し、人々がより健康的でQOLの高い生活を実現できるように看護する人材を育成する。

(2) 看護学分野 精神看護専門コース

精神看護専門コースでは、「卓越した看護実践能力」「コンサルテーション能力」「教育能力」「コーディネーション能力」「倫理調整能力」「研究能力」の6つの能力を備えた精神看護専門看護師を養成する。具体的には、講義・演習に加え、大学病院や精神科病院、都市部や離島をフィールドとした実習を通じた体系的な教育により、高度な看護実践能力を育成する。

(3) 助产学分野

助产学分野では、分野を修了すると、助产学国家試験受験資格が取得できる。また、女性看護学特論等の履修により、受胎調節実施指導員申請に必要な認定講習の受講証明が取得できる。助产学分野科目で妊娠期の健康診断を実施し、分娩期・産褥期につなげる実践能力を養い、前期博士

課程科目では、日本周産期・新生児医学会・新生児蘇生法専門コース認定の資格取得も可能であり、また、リプロダクティブ・ヘルス／ライツに関する知識を深め、性教育等を実践することにより、より高い実践能力を養う。離島実習では、地域の周産期医療の現状を知り、母子保健をマネジメントができるとともに、実習などの実践を通して抽出した課題について研究を行い、問題解決能力を持つ人材の養成をする。

(4) 公衆衛生看護学分野

公衆衛生看護学分野を修了すると、保健師国家試験受験資格が取得できる。公衆衛生看護学分野の教育課程では、地区診断、家庭訪問、健康教育、地域組織活動などを通じて、地域の健康課題を把握し、解決に導く実践力を養う。さらに、疫学・統計学等の学修を通じて、科学的根拠に基づいた保健活動を展開できる力を培う。

地域での実習では、多様な地域における公衆衛生活動の実際を学び、母子保健、高齢者保健、感染症対策など幅広い分野でのマネジメント能力を身につける。こうした学びを通して抽出した課題は研究へと発展させ、質の高い研究成果を基盤に、科学的根拠に基づく政策や実践を提案できる人材を育成する。

本分野で修得する知識と技術は、保健師としての基盤を確立するだけでなく、将来的に行政機関等における高度専門職としての活躍や、大学・研究機関における教育者・研究者としてのキャリア形成にもつながる。

2. 保健学領域

保健学領域は、理学療法学及び作業療法学を教育・研究内容とする。

近年、理学療法・作業療法はますます重要視され、高度技術と専門知識が要求されている。基盤的並びに先端的な教育・研究を推進し、応用力の高い基礎能力や技術を修得し、解決していく能力および独創的な研究を行える専門的知識と技術を持った教育・研究者を養成する。また、現状の保健医療の改善を図る実践能力を持ち、地域の保健医療に貢献できる高度専門職を育成し、新しい医療技術や医療機器を開発できる卓越した専門職の育成、実践の場でリーダーシップを発揮できる人材を育成する。

保健学領域は、理学療法学および作業療法学からなる。

(1) 理学療法学

リハビリテーションの対象となる運動器系、神経系、呼吸・循環器系における種々の疾患の病態・発生機序の解明および治療を目的とし、生理学的、病理学的および神経学的な教育・研究の指導を行う。同時にこれら疾患に起因する機能障害の理解を深め、理学療法学の知識と技術の確立に寄与するような指導を行う。また、理学療法の臨床の場で研究的手法を用い、臨床能力を向上させることが可能となることを目標とし、運動器系の障害に対する理学療法の教育・研究指導を行う。このように理学療法学に関する基礎的並びに臨床的な教育・研究を通して、疾患、障害および治療法の実践的教育・研究に対応できる高度な技術と科学的知識をもった理学療法学分野における研究者・指導者の育成を行う。

(2) 作業療法学

脳損傷患者の身体および高次脳機能障害においては、種々の動作および認知障害の応用動作能力または社会的適応能力の回復を図るために、基盤的・先端的な作業療法学的および神経心理学的分析とアプローチ方法を教育し、これらの脳・神経や筋におけるメカニズムの解明と新たな実践方法の開発を目的とする研究を指導する。

また、精神・発達障害に対する教育では、医療機関や地域社会で行われる精神・発達障害の作業療法において中心的な役割を果たす高度専門職の育成を図り、研究は、医療機関にとどまらず地域社会をも、その実践基盤として包含しつつある作業療法の新たな理論の構築と実践技術の開発を目的とする。

3. 教員の研究課題等

(2025年9月1日現在)

看護学領域

※連絡先 市外局番：099-， E-mail address -@以下に health.nop.kagoshima-u.ac.jp

職名	氏名 (連絡先)	研究課題	職名	氏名 (連絡先)	研究課題
教授	井上尚美 TEL・FAX 275-6765 E-mail midwifeb@	1. 助産師教育プログラムに関する研究 2. 地域志向型学生育成に関する研究 3. 離島の保健指導に関する研究	教授	八代利香 TEL・FAX 275-6755 E-mail yatsu-r@	1. 看護倫理に関する研究 2. 離島におけるヘルスケアシステムに関する研究 3. 看護の人的資源に関する国際的研究 4. 国際看護学に関する研究
教授	佐々木八千代 TEL・FAX 275-6751 E-mail ysasaki@	1. 地域在住高齢者の健康と生活に関する研究 2. 認知症高齢者ケアに関する研究 3. 看護マネジメントに関する研究	教授	山下亜矢子 TEL・FAX 275-6757 E-mail aya-yama@	1. 薬物・アルコール使用障害を有する人の回復に関する研究 2. 司法精神看護に関する研究 3. 精神科医療における行動制限最小化に関する研究 4. 看護マネジメントに関する研究
教授	西尾育子 TEL・FAX 275-6756 E-mail ikuko@	1. 糖尿病看護に関する研究 2. クリティカルケア看護に関する研究 3. 看護のキャリアプランに関する研究 4. 看護教育に関する研究	教授	若松美貴代 TEL・FAX 275-6790 E-mail mikiwaka@	1. 周産期のメンタルヘルスに関する研究 2. 乳幼児の育児環境に関する研究 3. 子育て支援に関する研究
教授	根路銘安仁 TEL 275-6597 FAX 275-6449 E-mail nerome@	1. HTLV-1母子感染予防対策 2. 小児死亡症例登録検証制度 3. 地域における母子保健体制	准教授	兒玉慎平 TEL・FAX 275-6794 E-mail kodama@	1. 地域におけるマンパワーの有効性についての研究 2. 地域における医療情報の有効利用についての研究 3. 医療安全管理における組織文化の役割に関する研究
教授	古島大資 TEL・FAX 275-6793 E-mail dfuru@	1. EBMと疫学・生物統計学に基づく健康な地域づくり推進に関する研究 2. 食品の機能性・安全性に関する研究 3. 離散シミュレーションモデルの臨床応用に関する研究	准教授	清水佐智子 TEL・FAX 275-6769 E-mail shimizu@	1. 看護学生・看護師への緩和ケア教育 2. 離島へき地における看護師の疼痛緩和ケアの質の向上 3. Webにおける緩和ケア教育プログラム開発
教授	宮田昌明 TEL・FAX 275-6742 E-mail miyata@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp	1. 健康寿命延伸を目指したヘルスプロモーション科学研究 2. 循環器疾患の診断・治療・看護に関する研究 3. 心不全の緩和や終末期医療に関する研究 4. 多職種連携に関する研究	准教授	松岡あやか TEL・FAX 275-6791 E-mail aya_matsuoka@	1. 産後の母親のソーシャルサポートに関する研究 2. 産後の腰痛とそのケアに関する研究 3. 母乳育児における授乳姿勢の可視化についての研究
			准教授	森隆子 TEL・FAX 275-6758 E-mail ryukomo@	1. 島嶼地域における看護実践に関する研究 2. 地域醸成型看護実践モデルの開発と実装

鹿児島大学大学院保健学研究科保健学専攻入学試験場
鹿児島大学桜ヶ丘地区



本学への交通機関

鹿児島大学ホームページ（桜ヶ丘キャンパス）
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/about/access.html>

問い合わせ先

鹿児島大学医歯学総合研究科等学務課保健学教務係

〒 890-8544 鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

TEL 099-275-6724

FAX 099-275-5136

URL <https://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~g-health/>

E-mail isgghk@kuas.kagoshima-u.ac.jp